

試験研究（事前）評価整理表

試験研究機関名 林業研究センター

所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	環境保全型農林水産業を確立するための技術開発	カツラマルカイガラムシの生態把握と防除技術の確立	カツラマルカイガラムシの被害から里山の環境を形成しているコナラ、クリ、サクラ等の広葉樹林を保全する。	カツラマルカイガラムシの生態の把握及び被害に関する防除技術の検討を行う。	H20	H24	B	地域の広葉樹林を森林害虫の被害から守り自然環境を維持するために必要である。	里山の保全と活用は重要な課題であり、広葉樹への被害の実態把握と抑制技術の確立を目指す本研究の意義は大きいと考えられる。
2	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	県士の多目的機能発現のための森林環境管理技術の開発	郷土種による法面緑化工の開発	生態系に配慮した法面緑化を行うため、それに適した郷土種による法面緑化工の開発を行う。	法面緑化工に適する郷土種の探索や生産技術など郷土種による法面緑化工の開発を行うとともに、郷土種法面施工面の経年調査も行う。	H20	H24	B	生態系への影響の配慮から郷土種による法面緑化工の開発が求められている。	郷土種に着目したユニークな研究であり、実施すべきであると考ええる。
3	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	中山間地域の産業振興を支援するための総合的な技術開発	ウコギ科類の増殖手法の開発	直売所等での新たな山菜として有望であるため、より簡便な増殖技術として確立する。	農林家に対応可能な挿し木技術の開発及び接ぎ木による矮化栽培の検討を行う。	H20	H24	B	コシアブラは中山間地域振興のため有望な山菜であり、農林家から増殖手法の開発が求められている。	地域特産品の増殖法の開発によって、特産品の安定生産が実現すれば、地域振興に役立つと考えられる。よって、期間の短縮が図られるよう早急な技術開発を行っていただきたい。

整理番号2,3については、次年度以降の取り組みとする。